

事業名称	信州アカマツの恵み循環事業	事業計画期間	R7 - R9年度
事業実施主体	長野県	交付対象事業費 (R7年度)	481,500千円
事業概要	近年県内ではアカマツの松くい虫被害が増加傾向となっており、守るべき松林への拡大を防止するための対策が急務となっていることから、アカマツの樹種転換対策等の取組とあわせてアカマツ資源の高付加価値化等に取り組むことで、アカマツを自立・持続的に活用できる仕組みを構築し、アカマツ林の保全を目指す。		

具体的使途
(経費内訳はR7
年度事業費)

○信州アカマツ等販路拡大事業（委託料 20,000千円）
アカマツ材は、近年の生活や住宅様式等の変化により、建築用材での利用が減少し、材価も安価になっている。このため、現在の生活様式に適した新たな活用方法の創出や販路拡大による高付加価値を図るため、市場調査や流通状況等の調査を行う。

○松くい虫抵抗性アカマツ等採種園環境整備事業（委託料 8,000千円）
アカマツの循環利用に向けては、苗木の確保が必要不可欠であることから、抵抗性アカマツを中心とした種子をより効率的に生産するために採種園の環境整備を行う。

＜インフラ整備＞
病害虫被害の危険性があるアカマツ林において、森林整備事業・治山事業を実施することにより、被害の拡大防止や森林の有する公益的機能の維持・保全を図るとともに地域資源の有効活用を推進する。

○信州の森林づくり事業（補助金 448,000千円）
病害虫被害の恐れがある地域において、樹種転換（伐採・搬出・植栽）を実施する。

○公共治山事業（委託料 5,500千円）
保安林内のアカマツ林のうち、病害虫被害拡大防止の観点から対策の必要性が高い箇所において、樹種転換を実施するために必要な森林の調査測量等を実施する。

実施体制

